

# 加西市の決算状況について

## 平成18年度決算状況

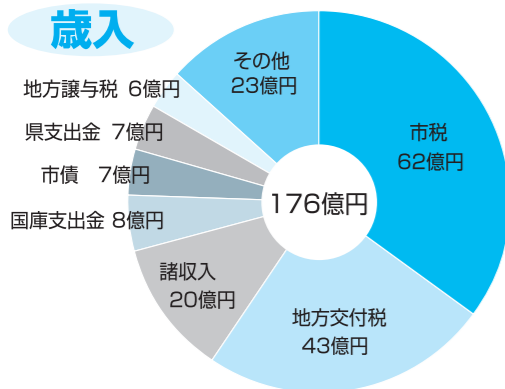
平成18年度加西市一般・特別会計、企業会計決算は、市議会9月定例会に提案されており、決算特別委員会での審議を経て、12月定例会で決算認定についての採決が行われる予定です。

## 市会計全体の財政状況

基金(貯金)は、総額で40億1,900万円、市民一人当たり8万円となります。市債(借金)は総額555億3,700万円で17年度より20億円減少したものの、市民一人あたり111万円となります。

## ●一般会計

### 歳入



## 一般会計について

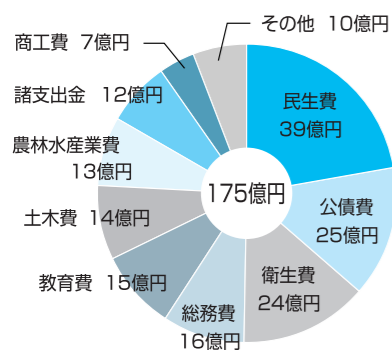
**歳入決算額**のうち最も多いのは、市民のみなさんに納めていただいた市民税・固定資産税などの市税収入で、62億円です。市税は評価替により固定資産税が減少しましたが、緩やかな景気回復を反映し個人市民税、法人市民税が増加したため昨年度とほぼ同じ水準を保っています。昨年度に比べて、歳入は地方譲与税、自動車取得税交付金、地方消費税交付金等が増加したものの、市債、地方交付税、国庫支出金が減少したため、合計で12億6千万円の減少になっています。

**歳出**は、繰出金が5千万円、補助費等が3千万円増加しましたが、財政再建推進計画に基づいた歳出の削減により普通建設事業費7億5千万円、人件費3億4千万円、物件費1億2千万円がそれぞれ減少したため、合計で12億1千万円の減少になっています。

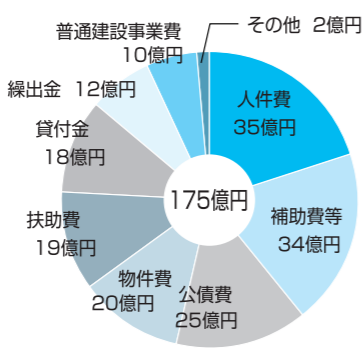
**歳入歳出差引額**は1億円で、31年連続の黒字となりましたが、18年度実質収支から17年度実質収支を差し引いた単年度収支は、7千万円の赤字になっています。

今後、国の行財政改革の影響を受け、歳入に占める割合の高い地方交付税も削減されることが予想され、歳出の一層の削減等、厳しい財政運営が求められています。

## ■目的別歳出



## ■性質別歳出



歳入総額	175億6,551万9千円
歳出総額	174億6,485万8千円
差引	1億66万1千円
翌年へ繰越	3,840万2千円
実質収支	6,225万9千円
単年度収支	△ 6,909万9千円

## ●特別会計

(有線放送電話) 受託工事の増及び維持管理経費の減により黒字

(国民健康保険) 共同事業拠出金等が増加したものの、共同事業交付金、県支出金等の増加により黒字

(介護保険) 新たに地域支援事業が創設されたものの、介護保険料、県支出金等の増により黒字

(老人保健医療) 医療給付費が増加し、歳入面で支払基金交付金や繰越金の減少により赤字

(公園墓地整備事業) 公園墓地の利用者と繰越金の増等により黒字  
特に、今後、保険給付費等の伸びが見込まれる国民健康保険、介護保険、老人保健医療の3会計は、歳入の一部を一般会計からの繰入金に頼っているため、特別会計の歳出の伸びは、一般会計の負担を増大させることとなります。

会計名	歳入	歳出
有線放送電話特別会計	5,001万2千円	2,023万4千円
国民健康保険特別会計	46億2,024万8千円	44億1,690万9千円
介護保険特別会計	30億1,105万5千円	29億2,866万7千円
老人保健医療特別会計	47億2,569万2千円	48億683万2千円
公園墓地整備事業特別会計	2,887万1千円	354万3千円

平成18年4月1日から平成19年3月31日までの市の収入と支出の実績

## ●企業会計

問合せ先 財政課

### ① 水道事業会計

経営成績を示す収益的収支は、下水道事業関連の収益・費用が共に増加し、1億7千万円の純利益となりました。

また、将来の経営活動に備えて行う建設改良等に係る資本的収支は、2億3千万円の収入不足となり、内部留保資金(現金支出を伴わない減価償却費等)等で補っています。

現在、1m<sup>3</sup>の水道水を家庭や工場に送るのに268円(税抜)の費用がかかるのに対し、料金収入は263円(税抜)です。下水道工事に伴う水道の配水管布設替工事は、現在、下水道事業会計の経費で行っていますが、今後、下水道工事に伴わない老朽管の更新や耐震化のために、多額の費用が必要となります。

収益的収入	14億794万6千円
支出	12億3,462万3千円
資本的収入	2億6,809万8千円
支出	4億9,385万1千円
資産	117億7,118万5千円
負債	2億8,432万4千円
資本	114億8,686万1千円

### ② 下水道事業会計

収益的収支は、昨年度に比べて、事業収益のうち使用料収入が増加したものの、企業債利息の償還費用などが大きな負担となり、4億1千万円の純損失が生じています。また、資本的収支についても、7億1千万円の収入不足となっています。

現在、1m<sup>3</sup>の汚水を処理するのに625円(税抜)の費用がかかるのに対し、使用料収入は170円(税抜)となっています。下水道事業は、平成20年度の完了に向けて事業を推進していますが、同時に、経営の健全化も図らなければならず今後もさらに厳しい財政運営が求められています。

収益的収入	16億8,727万5千円
支出	20億9,804万1千円
資本的収入	20億8,680万6千円
支出	27億9,916万4千円
資産	542億9,614万3千円
負債	15億3,200万円
資本	527億6,414万3千円

### ③ 病院事業会計

収益的収支は、収入面では診療単価は増額となったものの常勤医師の減少等により入院・外来患者数が減少し収益全体で減収となりました。一方、支出面では、医療費用、医業外費用ともに減少し、本年度は2億3千万円の純損失となりました。資本的収支については、1億2千万円の収入不足が生じましたが、内部留保資金等で補っています。

患者1人1日当たりの診療単価は、入院で4万円、外来で1万5千円となっています。

収益的収入	56億4,266万3千円
支出	58億7,044万8千円
資本的収入	2億902万1千円
支出	3億2,615万9千円
資産	55億8,255万9千円
負債	7億2,173万4千円
資本	48億6,082万5千円

### ④ 農業共済事業会計

農業共済事業は、農業災害補償法に基づき、農作物、家畜、畑作物、園芸施設の損失を補てんするもので、畑作物を除く各共済勘定で、純利益となりました。

収益的収入	1億2,903万5千円
収益的支出	1億2,080万2千円
資産	1億8,382万2千円
負債	1億643万円
資本	7,739万2千円

## ■市債(市の借金)

(千円)

年度	一般会計	下水道事業会計	水道事業会計	病院事業会計	合計
15	21,941,966	31,062,592	2,121,885	4,309,687	59,436,130
16	21,289,030	31,311,272	2,035,512	4,189,410	58,825,224
17	20,645,281	30,970,453	1,978,929	3,999,871	57,594,534
18	19,377,592	30,442,772	1,907,778	3,808,780	55,536,922

## ●住民一人あたり借金

(平成18年度末現在の人口49,918人)

一般会計	388,188円
下水道事業会計	609,856円
水道事業会計	38,218円
病院事業会計	76,301円
合計	1,112,563円